



2015年3月期第1四半期決算説明

東亜ディーケーケー株式会社

2014年7月

(東証1部:6848)



東亜ディーケーケー株式会社

- 1. 2015年3月期第1四半期決算(3～9頁)**
- 2. 2015年3月期業績予想(10頁)**

1. 計測機器業界は、輸出産業を中心とする企業収益の改善を背景に、設備投資が緩やかな回復基調にあることや、官公庁向の設備更新需要が増加傾向にあることから堅調に推移。
2. 消費税増税による反動減の影響があったものの、売上高、利益共に前年同期に比べて増加。
3. 58ヶ月連続(2009年9月～)単月黒字化達成(新記録)

(単位:百万円)

	2014.3 1Q	2015.3 1Q	増減率	差異
売上高	2,903	2,914	+0.4%	+11
営業利益	83	132	+57.7%	+48
経常利益	109	142	+29.3%	+32
四半期純利益	6	37	+5.9倍	+31

計測機器事業

売上高2,857百万円(+0.3%)、セグメント利益282百万(+21.4%)

- 前期から引続き、官公庁向け上下水道用分析計が好調裡に推移したほか、海外はアジアを中心に環境用水質分析計が寄与。一方で産業用ガス検知警報器が落ち込んだことで、売上高は前期比微増。
- 利益面では、環境・プロセス分析機器の比較的当社が得意とする機種分野を中心に売上高が増進したこともあり、一定の利益を確保。

不動産賃貸事業

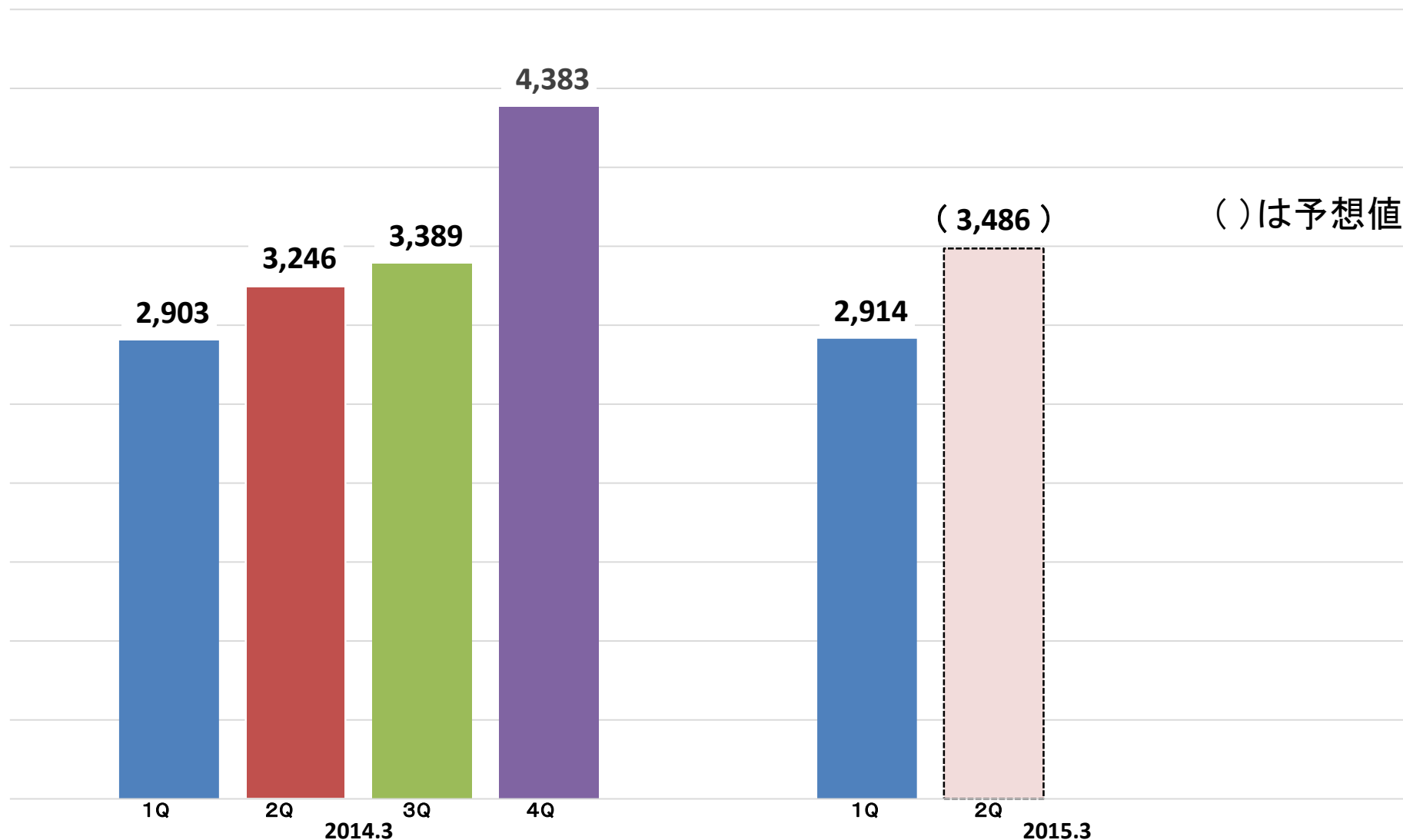
売上高57百万円(+5.7%)、セグメント利益29百万円(△15.7%)

- 前年4～5月は従来どおりの賃料収入があるも、6月は本社隣接TDビルの一棟貸しテナントが5月末に退去したことで売上高減少。現時点では新テナントがすべて決定したことで増収となったが維持管理費の増加から減益。

四半期経営成績(売上高)



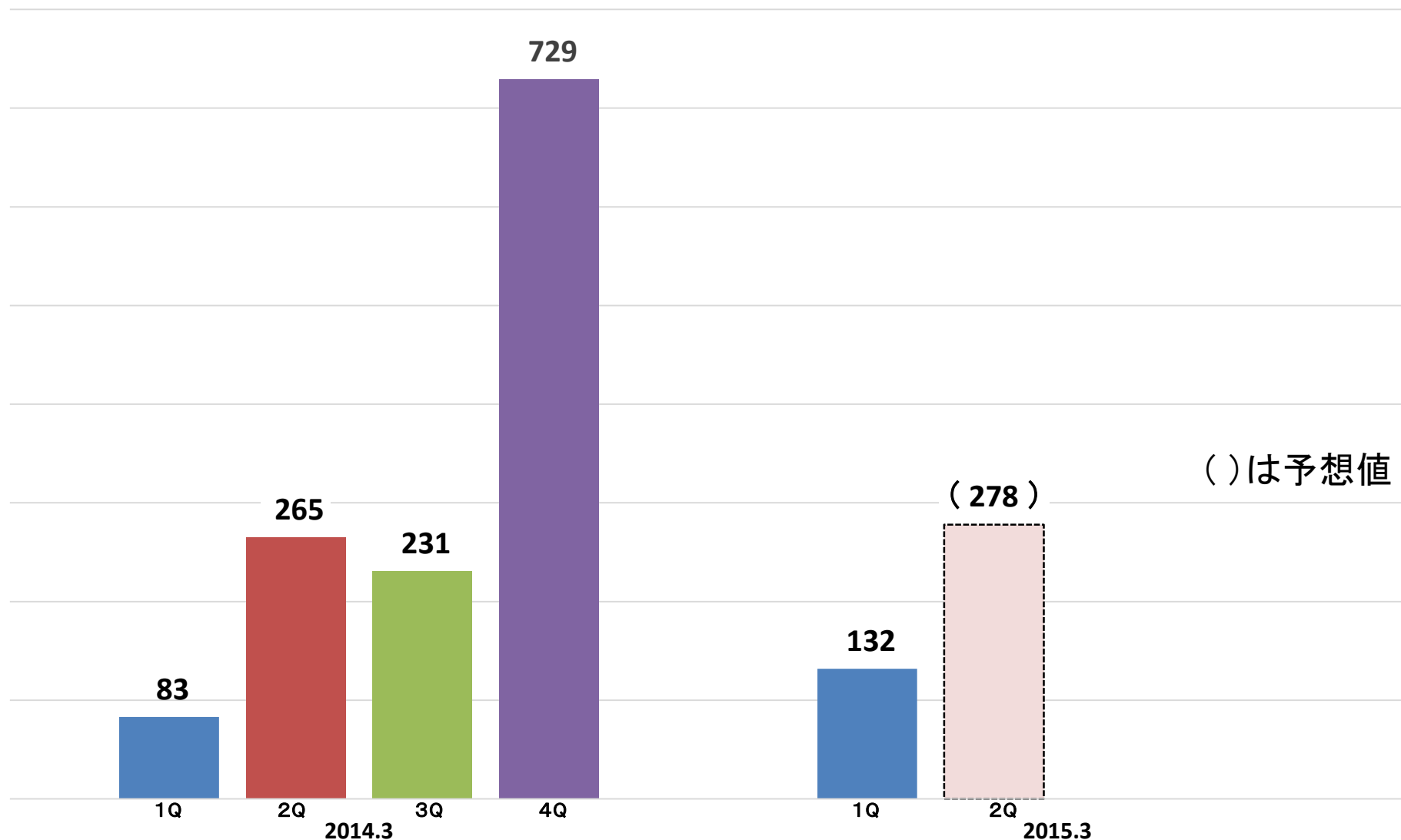
(単位:百万円)



四半期経営成績(営業利益)



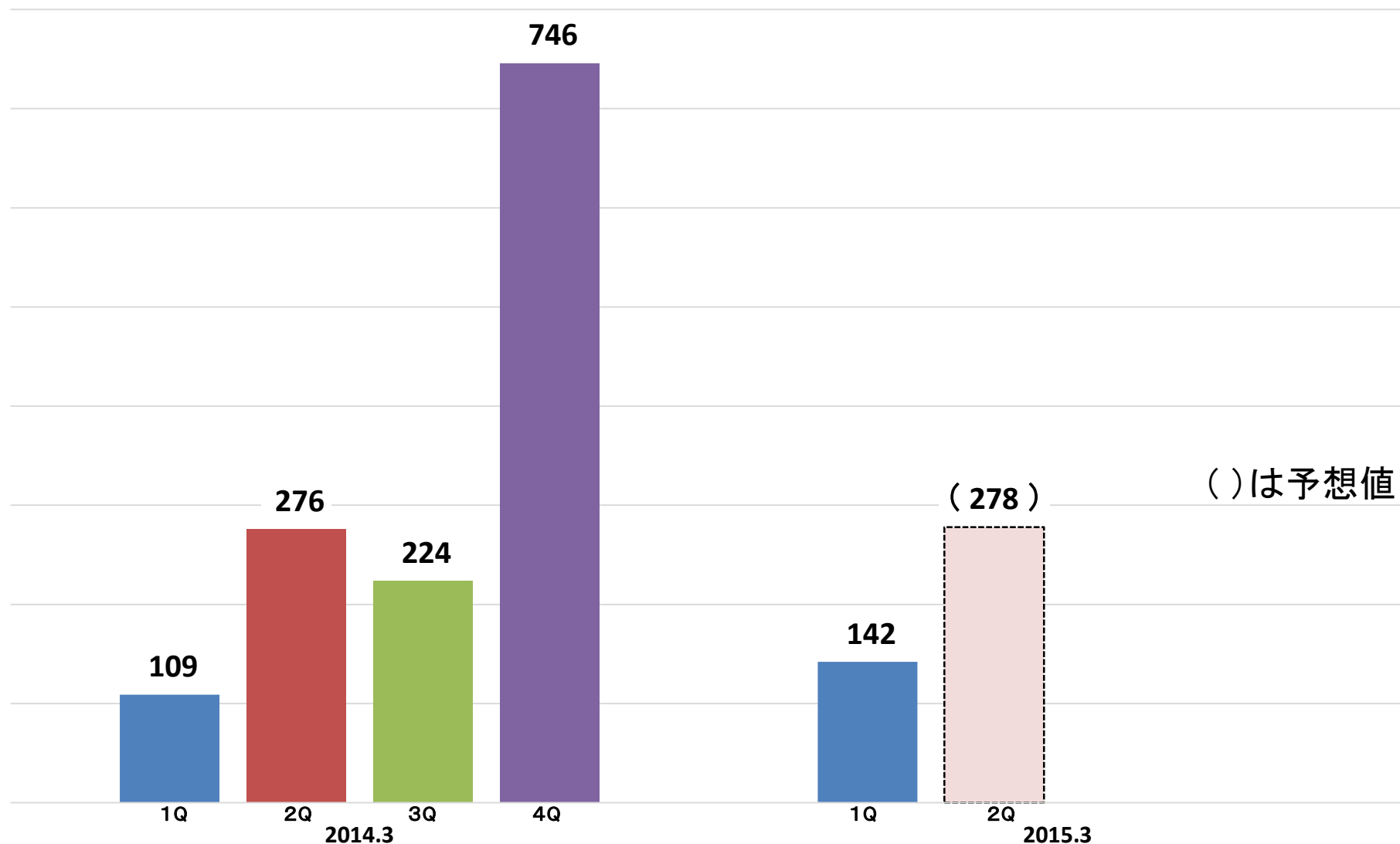
(単位:百万円)



四半期経営成績(経常利益)



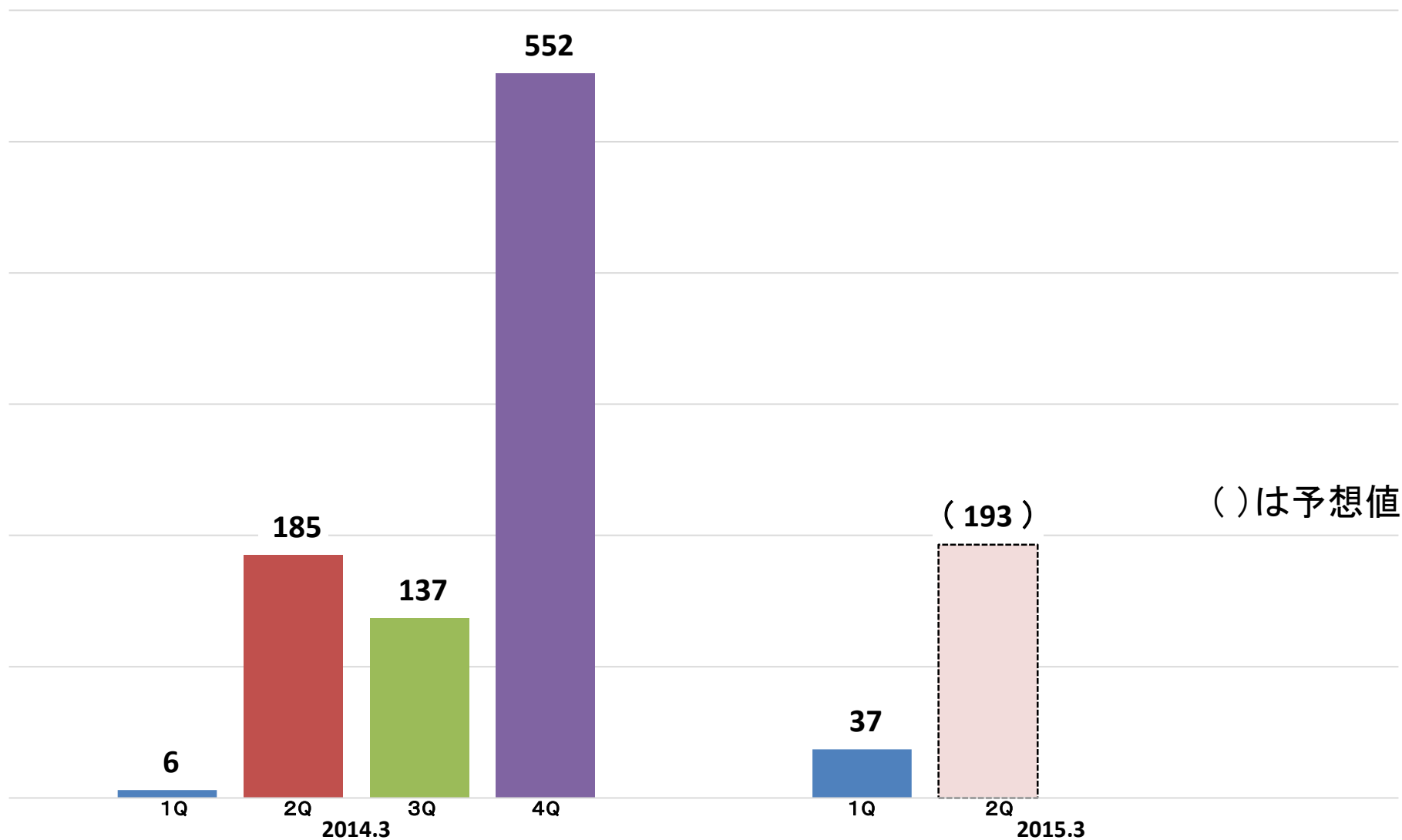
(単位:百万円)



四半期経営成績(純利益)



(単位:百万円)

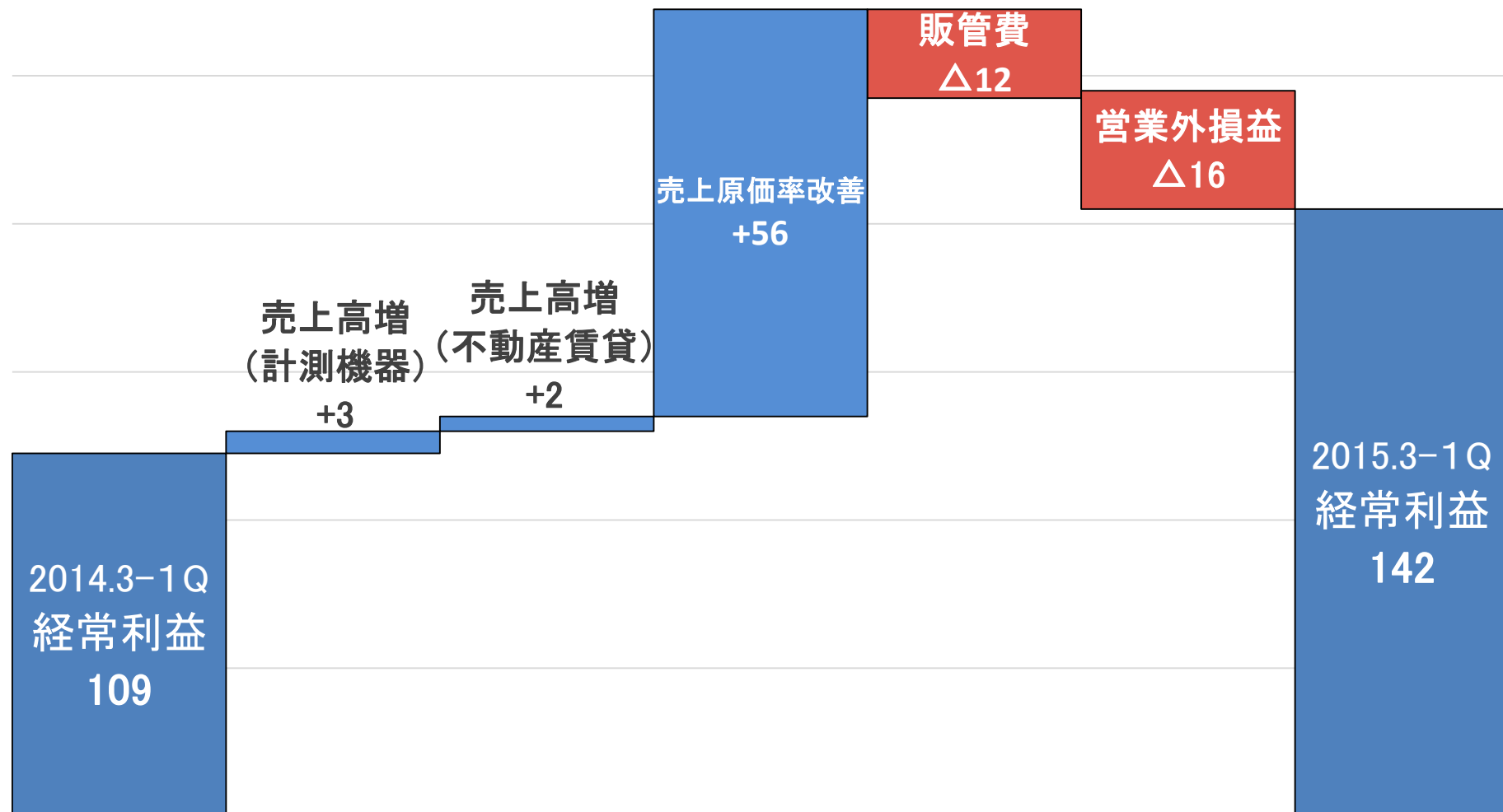


()は予想値

經常利益増減分析



(単位:百万円)



計測機器事業

国内：プロセス分野での設備更新需要が増加傾向

透析用薬剤溶解装置の販売強化

海外：中国での重金属モニターの拡販期待

不動産賃貸事業

新規テナントほぼ確定、通期安定収入実現へ

（単位：百万円）

	2014.3 実績	2015.3 予想	増減率	差異
売上高	13,923	14,440	+3.7%	+517
営業利益	1,310	1,430	+9.2%	+120
経常利益	1,357	1,460	+7.6%	+103
当期純利益	881	950	+7.7%	+69

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
3. また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
4. また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
企画総務部 企画・IR課

電話：03-3202-0242

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：<http://www.toadkk.co.jp/>